



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
『都市の記憶を失う前に 後藤 治 著(白揚社)』



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



筆者は文化庁の技官職の経験をふまえて、法隆寺などの国宝は別として、なぜ、日本の歴史的建造物が保存・活用されないか、文化財保護法や建築基準法の問題点を論じています。

また、筆者は、歴史的建造物は保存だけでなく、活用することが大事で、まちづくりの中でどのように活用するのか考えていけないといけな。歴史的建造物は、日本の自治体では、文化財保護関係課が担当しているが、本来は、まちづくり・都市計画関係課が所管するべきとしています。ヨーロッパでは、都市計画マスタープランに歴史的建造物をどのように活用するか位置付けがあるそうです。

これを書いている私も、老朽化しているけど、まちの歴史を語る貴重な建造物をどうしようかなと悩んでいます。本書を読んでいると「この悩みは根が深い」と考え込んでしまいますが、少しは解決に向けてヒントになりそうです。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

国土交通省 近畿地方整備局 河川部 地域河川課
樁 善光



樁 善光さん(一番左)



講座の様子

平成26年度の「パートナーネットワーク講座」を受講し、群馬県まちづくりファシリテーターに認定されました京都市内在住の樁です。今回、縁あってこの講座を受講させていただきましたが、実際に参加してみて、座学による知識取得だけに留まらず、ワークショップの運営法を学ぶ「模擬ワークショップ」や、まちづくりに必要な地域資源を活かす目線を養う「まちなか歩き」など、大変実践的な講座となっていて、とても勉強になりました。

私は、国土交通省近畿地方整備局に勤務しており、これまで道路行政、河川行政、ダム建設、都市整備、国土計画など様々な業務を担当してきましたが、どれをとっても住民からは「まちづくり」の一貫であり、それを住民との対話なしの「行政からの押しつけ」で実施する時代ではなくなっていると感じています。その際、担当者にはなくてはならない技術が「ファシリテーション」ですが、これを学べる機会がこの品質で用意されているというのは、とても素晴らしいことだと思いました。

群馬県では毎年認定ファシリテーターが生まれているとのことで、この人的資源がまちづくりに反映されていけば、益々よりよいまちづくりが実践していけるのではないかと思います。

私も今回の講座で得た体験を今後関わるまちづくりに活かしていきたいと思っています。また、群馬県まちづくりファシリテーターとしてお手伝いできることがあれば是非お声かけください。

マーチィの掲示板

道の駅「玉村宿」×県立女子大学×国土交通省によるイベントにおじゃましてきました!



11月22日(日)、玉村町の道の駅「玉村宿」で、玉村町の魅力を発信し道の駅を盛り上げるため、道の駅と群馬県立女子大学および国土交通省高崎河川国道事務所が連携したイベントが行われ、われわれまっちい〜ズも実際に参加してきました。

道の駅では、学生がデコレーションをした電動バスの試乗会や、学生が企画したランチセットを販売するなど、学生主体となった企画で道の駅を盛り上げました。玉村町に由来するクイズ大会も行われ、「北部公園バラ園には何種類のバラがある?」「玉村八幡宮ではお祈りしようと近付くと何が起る?」などのユニークなクイズが数問出題されました。クイズ正解者にはたまぐッズがプレゼントされるなど、会場内はとてもにぎわっていました。

また、たまむらグルメを競う「たまむらグランプリ」では、多くの来訪者が列をつくり、からあげ丼やたまロンスティックなどのグルメを堪能し、自身のお気に入りのグルメに投票を行っていました。

